

## 松前記念館（東海大学歴史と未来の博物館）

東海大学は、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人づくりを通じて「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を掲げています。創立者・松前重義の思想と業績を後世に伝えるとともに、東海大学の建学の理念を継承し、学園が理想とする教育研究に資することにより、広く社会に貢献するのが松前記念館の使命です。

### 1. 松前記念館の沿革

大学の建学 40 周年記念事業の一環として 1983 年の建学記念日に開館した当館は、2004 年に博物館相当施設の指定を受けました。その後、大きく変化する世界において、本学が掲げる理念とそれに基づく教育・研究活動は、ますます重要な使命を帯びてきました。そこで 2022 年の建学記念日を期に、当館では段階的にリニューアルを開始し、東海大学の歩んできた歴史と、そこで「文明」「文理融合」の眼差しとともに育んできた「知」の集積を、しっかりと次世代へ継承し、地域や国際社会とともに未来を創造していく、新たなミュージアムを目指していくこととなりました。

### 2. 松前記念館の特色

本学は、国内最大級のアンデス先史文明に関する遺物（アンデスコレクション）や古代エジプト及び中近東コレクションなどの貴重な学術資料を所蔵しています。リニューアルの柿落としの企画展は、これらを活用した「古代アンデスの音とカタチ—先端科学で解き明かす東海大学コレクション」です。古代文明の遺物に、数々の先端技術の光を当てることで、遠い過去から時空を超えて現代人に継承される「人間らしく生きる喜び—感性のみずみずしさ」を訴えかける——この企画には、近い将来の松前記念館を目指す「学問分野の際を越え」「ともに学び」「その成果をデジタル資産として残していく」—まさに館の愛称である「歴史と未来の博物館」へ向けたステップ、試みがふんだんに盛り込まれています。知識偏重教育を取らず幅広い視野と柔軟な発想力を育む人づくりを目指す大学の教育研究をサポートする新たなミュージアム構想です。

リニューアルした 1 階展示室では創立者の世界的発明として知られる無装荷ケーブル通信方式やその多重通信の技術を応用した FM 東海（民間で日本初の超短波 [FM] 放送実験局）の展示など情報通信の技術史も紹介しています。尚、2 階展示室では今後、「建学の理念」「先駆けであること」「総合大学への道」の 3 ゾーンによる学園の歴史を中心に、本学の教育の源流にあたる望星学塾や内村鑑三、デンマークのフォルケホイスコーレに関する資料、学園創設期の資料などを展示予定です。

### 3. 地域との連携

ユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）の実践の一環として、2020 年から神奈川との連携による「ともいきアートサポート事業」を開始し、近隣の盲学校や養護学校との連携成果をロビー展示（期間限定）で紹介してきました。また県内の博物館と連携し、台風で被災した博物館資料のレスキュー活動や、屋外彫刻のメンテナンス活動など、文化財や博物館資料の保存と活用に関する実践に学生とともに取り組んでいます。

### 4. ご利用案内

開館時間 10:00~17:00（入館 16:30）  
休館日 日曜日・祝日・大学の休みの日  
入館料 無料  
問合せ先 kinenkan@tsc.u-tokai.ac.jp  
交通アクセス 小田急線（新宿より快速急行約 60 分、小田原より約 25 分）「東海大学前」駅下車徒歩約 15 分、または『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス（約 5 分）で「東海大学北門」下車。／JR 東海道線「平塚」駅下車『東海大学行き』または『秦野駅行き』バス（約 30 分）で「東海大学正門前」下車徒歩約 5 分。